

# 平成29年度 事業報告

## 1.概 況

わが国の経済は、マイナス金利による個人消費や設備投資の増加により、穏やかな回復基調にあると伝えられていますが、地方においては急速に進む人口減少や少子高齢化により大都市との格差が拡大し、きびしい経済状況にあります。平成29年度は、人材不足、人手不足が続く中「事業承継」や「働き方改革」など困難な課題への対応が企業に求められ、話題となった1年でありました。

法人会におきましては、10月5日、全法連主催、福井県法連主管により、第34回法人会全国大会福井大会が福井市におきまして、来賓と全国各地の法人会から1800名が一堂に会し、盛況裡に開催されました。当会が担当した物産展には予想を超える多くの来場者が訪れました。

当法人会は、公益社団法人として租税教育活動や地域社会貢献事業を本年度も積極的にすすめ、女性部会主管による「第9回税に関する絵はがきコンクール」の実施、青年部会、女性部会による小学校の「税金教室」講師担当や「公開講演会」「ふるさと交流会」を実施しました。

## 2.組 織

### (1)会員数

年度初会員数 29.4.1	新規加入者数	退会者数	年度末会員数 30.3.31	法人数	年度末加入率
502	4	14	<b>492</b>	895	55.0%

### (2)青年・女性部会

#### 【青年部会】

年度初会員数 29.4.1	新規加入者数	卒業者数	退会者数	年度末会員数 30.3.31
37	3	0	2	<b>38</b>

#### 【女性部会】

年度初会員数 29.4.1	新規加入者数	退会者数	年度末会員数 30.3.31
48	1	3	<b>46</b>

## 事項別状況

### 適正な申告・納税を普及、推進する事業（公1）

#### 1. 税知識の普及を目的とする事業

##### (1) 税務に関する研修会、個別相談会の開催

###### 1) 税経セミナー

期 日 平成29年12月6日  
場 所 小浜商工会館  
受講者 15名  
講師 小浜税務署法人課税部門国税調査官 上田太津夫氏  
テーマ 「中小法人企業のための平成29年度税制改正のあらましと消費税軽減税率制度について」

###### 2) 特設税務相談所

期 日 平成30年2月19日～2月23日の5日間  
場 所 小浜商工会館  
相談者 23名  
相談担当 北陸税理士会小浜支部 会員税理士

##### (2) 税務図書の配布

1) 平成29年度税制改正のあらまし(速報版) (平成29年 4月)  
2) 平成29年度主要税法取扱い便覧 (平成29年 7月)  
3) 平成29年度税制改正のあらまし (平成29年 7月)  
4) 平成29年度会社の決算・申告の実務 (平成29年 7月)  
5) 平成29年度源泉所得税実務のポイント (平成29年10月)  
6) 平成29年度会社取引をめぐる税務Q&A (平成29年10月)  
7) 平成29年分会社役員のための確定申告実務ポイント (平成30年 1月)

### 2. 納税意識の高揚を目的とする事業

#### (1) 第9回税に関する絵はがきコンクールの実施

租税教育活動の一環として「第9回税に関する絵はがきコンクール」を当会女性部会が主管となり実施した。

1) 応募対象 小浜市、高浜町、おおい町内の小学6年生  
2) 作品応募期間 平成29年12月11日～平成30年1月29日  
3) 応募作品数 420作品 参加校20校  
4) 作品審査会  
期 日 平成30年2月1日  
場 所 小浜商工会館  
出席者 審査委員19名(税務署3名、教育委員会3名、  
当会役員3名、青年部会1名、女性部会役員9名)  
審査結果 最優秀賞1名、優秀各賞14名、入選43名、学校賞1校

当会の最優秀賞作品は、県法連においても最優秀で県連会長賞を受賞。

5) 表彰式

期 日 平成30年3月3日  
場 所 小浜商工会館  
出席者 56名(受賞児童30名、来賓5名、教諭5名、当会役員2名、  
青年部会1名、女性部会員10名、事務局3名)  
他に保護者多数  
内 容 ・表彰状、副賞授与  
・来賓祝辞〔小浜税務署長 升田佐吉 様〕

6) 作品展示(複写)

・小浜信用金庫 本店 (3月5日～3月9日)  
大飯支店 (3月12日～3月16日)  
高浜支店 (3月19日～3月23日)  
・おばまショッピングセンター (3月24日～4月8日 )  
・小浜税務署 (3月5日～ )

7) 参加賞(シャープペン、消しゴム)、学校参加賞(サッカーボール)、  
優秀各賞作品掲載カレンダーの配布

## (2) 税金教室の講師担当

小浜地区租税教育推進連絡協議会が租税教育を目的に実施している「税金教室」に当会青年部会、女性部会の役員が講師を担当した。

- 1)期 日 平成29年12月5日  
場所[対象] おおい町立本郷小学校〔6年生35名〕  
講 師 青年部会役員2名
- 2)期 日 平成30年1月18日  
場所[対象] 小浜市立雲浜小学校〔6年生29名〕  
講 師 女性部会役員3名
- 3)期 日 平成30年1月19日  
場所[対象] おおい町立佐分利小学校〔6年生11名〕  
講 師 青年部会役員3名

## (3)小浜地区租税教育推進連絡協議会に対する協力

小浜地区租税教育推進連絡協議会への出席

平成29年度第1回会議 平成29年5月25日、第2回会議 9月14日

## (4) 税務署幹部との意見交換

### 1) 女性部会懇談会

期 日 平成29年6月1日  
場 所 ホテルアーバンポート

受講者 25名  
講師 小浜税務署長 寺西充宏 氏  
テーマ 「世界の税金 よもやま話」

## 2) 役員懇談会

期 日 平成29年9月6日  
場 所 ホテルせくみ屋  
受講者 37名  
講師 小浜税務署長 升田佐吉 氏  
テーマ 「日本の財政と税」

## 3) 青年部会懇談会

期 日 平成30年2月7日  
場 所 ホテルせくみ屋  
受講者 21名  
講師 小浜税務署長 升田佐吉 氏  
テーマ 「消費税軽減税率制度の概要と医療費控除の変更点について」

## (5) 全法連推奨〔国税庁後援事業〕の「自主点検チェックシート」の配付

「自主点検チェックシート・ガイドブック（入門編）」（12月税経セミナー）

## (6) 全法連機関誌の配布

全法連機関誌「ほうじん」（春号・夏号・秋号・新年号 年4回）

## (7) 税の啓発用マンガ本、租税教育教材の配布

租税教育用テキスト「タックスフントとけんたくん」  
（平成29年12月、平成30年1月に税金教室3校で配付）

## (8) 「納税わかさ」〔小浜納税貯蓄組合連合会発行〕の発行協力

第144号(11月)、第145号(2月)に「法人会だより」を掲載

## (9) 小浜税務連絡協議会の運営と事業実施の支援

小浜税務連絡協議会平成29年度総会 平成29年6月23日  
JA若狭まつり会場において、若狭高校書道部による「書道パフォーマンス」の  
実施と税の啓発パンフレット等を各税務団体と共に配布した。

平成29年10月28日

## 3.税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

### (1) 平成29年度税制改正要望の集約、提言、要望

当法人会正副会長及び研修税制委員会委員に対し税制改正に関するアンケート調査を4月に実施した後、福井県連としての見解をまとめ、6月に全法連に対して

要望書を提出した。

【要望事項は19ページ以降に記載】

**(2) 全法連において取りまとめた「平成30年度税制改正に関する提言」を下記宛てに提出した。** (平成29年11月10日・15日)

小浜市	市長	松崎 晃治 氏
小浜市議会	議長	下中 雅之 氏
おおい町	町長	中塚 寛 氏
おおい町議会	議長	浜上 雄一 氏
高浜町	町長	野瀬 豊 氏
高浜町議会	議長	栗野 明雄 氏

**(3) その他の税制及び税務に関する調査研究、提言活動**

**1) 第12回法人会全国女性フォーラム(鹿児島大会)への参加**

平成29年 4月7日 女性部会役員 3名 [鹿児島市]

**2) 第34回法人会全国大会福井大会の開催**

全法連(小林栄三会長)主催、福井県法連(伊東忠昭会長)の主管により開催され、国税庁長官、福井県知事、金沢国税局長をはじめ、友誼団体と厚生事業協力会社の代表など多くの来賓と全国各地の法人会県連、単位会から、約1800名が一堂に会した。

期 日 平成29年10月5日

場 所 福井県産業会館

参加者 当会より役員、青年部会、事務局計20名参加

記念講演

講師 毎日新聞専門編集委員 与良正男 氏

演題 「今後の政治と経済の行方」

大会式典、懇親会、物産展、展示コーナー

当会は、物産展担当、福井県物産協会の協力により県内より24業者が出店

**3) 第31回法人会全国青年の集い高知大会への参加**

平成29年11月10日 青年部会役員 4名 [高知市]

**地域社会の健全な発展・社会への貢献を目的とする事業(公2)**

**1.地域企業の健全な発展に資する事業**

**(1) 平成29年度福井県中小企業産業大学校嶺南教室(共同開催)]**

期 日 平成30年1月24日

場 所 小浜商工会館

受講者 11名

講 師 (株)ナーツ 代表取締役 野中栄一 氏

テーマ 「業務改善、CS向上につなげる!スマホ・タブレット活用講座」

**(2) ふるさと交流会2018(小浜信用金庫と共催)**

期 日 平成30年 3月8日

場 所                   ホテルアーバンポート  
参加者                   講演会93名、交流会81名  
講演会講師           京都100年企業研究会主宰 林 勇作 氏  
テーマ                   「京都100年企業に学ぶ企業継続の3つの秘訣」

### (3) 新入社員研修講座2018

期 日                   平成30年3月22日・23日  
場 所                   小浜商工会館  
受講者                   48名  
講 師                   オフィス上村 代表 上村泰子 氏  
                          AIG損害保険(株)福井支店長 大金裕明 氏

### (4) インターネットセミナー・オンデマンドサービス

期 間                   平成29年4月～平成30年3月  
ログイン回数       814回       アクセス回数 7,731回

## 2.地域社会への貢献を目的とする事業

### (1) 公開講演会

期 日                   平成29年11月27日  
場 所                   小浜市まちの駅 旭座  
入場者                   111名  
講 師                   落語家・僧侶 露の団姫 氏  
テーマ                   「落語家・まるこの仏道修行」 (落語と講演会)

### (2) 会報の発行

小浜法人会会報誌「fame」(名称変更)第37号(平成29年10月 961部)

### (3)小浜法人会ホームページで研修会・講演会・行事等を紹介

<http://www.obama-hojinkai.com>

## 会員の交流に資するための事業(他1)

### 1. 青年部会・女性部会関係

#### (1) 青年部会活動

- |                                |            |       |
|--------------------------------|------------|-------|
| 1) 第49回役員会                     | 平成29年4月11日 | [小浜市] |
| 2) 第23回定時総会                    | 平成29年4月26日 | [小浜市] |
| 3) 福井県法連青年部会連絡協議会平成29年度定時連絡協議会 | 平成29年6月13日 | [福井市] |
| 4) 大型保障制度研修会                   | 平成29年7月24日 | [小浜市] |

- |                            |             |        |
|----------------------------|-------------|--------|
| 5) 平成29年度福井県法連青年部会連絡協議会研修会 | 平成29年8月25日  | [勝山市]  |
| 6) 第50回役員会                 | 平成29年11月7日  | [小浜市]  |
| 7) 第31回法人会全国青年の集い(高知大会)    | 平成29年11月10日 | [高知市]  |
| 8) 公開講演会、青年部会意見交換会         | 平成29年11月27日 | [小浜市]  |
| 9) 税金教室打合せ会                | 平成29年12月5日  | [おおい町] |
| 10) 税金教室の講師担当              | 平成29年12月5日  | [おおい町] |
| 11) 税金教室打合せ会               | 平成30年1月19日  | [おおい町] |
| 12) 税金教室の講師担当              | 平成30年1月19日  | [おおい町] |
| 13) 税務署長との懇談会・第28回(新春)例会   | 平成30年2月7日   | [小浜市]  |

## (2)女性部会活動

- |                                |            |        |
|--------------------------------|------------|--------|
| 1) 第12回法人会全国女性フォーラム鹿児島大会       | 平成29年4月7日  | [鹿児島市] |
| 2) 第73回役員会                     | 平成29年4月13日 | [小浜市]  |
| 3) 福井県法連女性部会連絡協議会第14回通常役員総会    | 平成29年5月17日 | [福井市]  |
| 4) 第18回定時総会・税務署長との懇談会          | 平成29年6月1日  | [小浜市]  |
| 5) 第74回役員会                     | 平成29年11月7日 | [小浜市]  |
| 6) 平成29年度福井県法人会連合会女性部会連絡協議会研修会 | 平成29年11月9日 | [福井市]  |
| 7) 第75回役員会                     | 平成29年12月4日 | [小浜市]  |
| 8) 税金教室打合せ会                    | 平成30年1月15日 | [小浜市]  |
| 9) 税金教室の講師担当                   | 平成30年1月18日 | [小浜市]  |
| 10) 第20回(新春)例会                 | 平成30年1月31日 | [小浜市]  |
| 11) 「第9回税に関する絵はがきコンクール」作品審査会   | 平成30年2月1日  | [小浜市]  |
| 12) 第76回役員会                    | 平成30年2月1日  | [小浜市]  |
| 13) 福井県法連女性部会連絡協議会正副会長会議       | 平成30年2月19日 | [福井市]  |
| 14) 「第9回税に関する絵はがきコンクール」表彰式     | 平成30年3月3日  | [小浜市]  |

## 2. 福利厚生制度の会議等

### (1)総務厚生委員会・健康経営セミナー

期 日	平成30年2月21日
場 所	小浜商工会館

委員会出席者13名、セミナー受講者17名

委員会協議事項 福利厚生制度、2年2万社運動について

セミナーテーマ 「働く人と企業の健康の創造」

講師 特定非営利活動法人 健康経営研究会 但馬久美 氏

## (2)保障制度連絡協議会

1) 期 日 平成29年9月6日

場 所 ホテルせくみ屋

出席者 37名

協議事項 福利厚生制度の推進状況と今後の推進について

2) 期 日 平成30年3月26日

場 所 ホテルアーバンポート

出席者 32名

協議事項 福利厚生制度の推進状況と今後の推進について

## (3)福利厚生制度の加入状況

1)大型保障制度

平成29年度新規企業加入 2社

平成29年度取扱企業実績 33社

2)ビジネスガード

平成30年3月末現在加入状況 36社

3)がん保険制度

平成30年3月末加入契約会員数 74社

◎当会は大型保障制度において、単位会別会員加入率40.9%で  
全国4位(3月末)。単位会別役員加入率は90%以上を維持。

## (4)パンフレットの配布

1)福井県済生会病院PET-CTがん健診 (平成29年 4月)

2)福井大学医学部附属病院人間ドック料金割引制度 (平成29年 7月)

## 会の運営等に関する事項

### 1. 諸会議関係

#### (1)第5回定時総会

期 日 平成29年6月8日

場 所 ホテルアーバンポート

出席者 355名(内、委任状315名)

議 事 1)平成28年度収支決算承認の件

2)理事及び監事選任の件



- 報告事項 1)平成28年度事業報告  
2)平成29年度事業計画  
3)平成29年度収支予算

## **(2)正副会長会議**

- 期 日 平成29年4月24日  
場 所 福井市  
議 題 1)平成28年度事業報告、収支決算について  
2)役員改選について

## **(3)監査会**

- 期 日 平成29年5月10日  
場 所 小浜商工会館  
内 容 平成28年度の業務及び収支決算状況について監査

## **(4)第13回理事会**

- 期 日 平成29年5月15日  
場 所 小浜商工会館  
出席者 26名(理事18名)  
報告事項 職務執行状況報告、功労者表彰、青年部会の役員選任、  
全国大会福井大会について  
議 事 1)平成28年度事業報告承認の件  
2)平成28年度収支決算承認の件  
3)理事及び監事選任の件  
4)定時総会の日時等について

## **(5)第14回理事会**

- 期 日 平成29年9月6日  
場 所 ホテルせくみ屋  
出席者 37名(理事23名)  
報告事項 職務執行状況報告、全国大会福井大会について  
承認事項 委員会編成について

## **(6)第15回理事会**

- 期 日 平成30年3月26日  
場 所 ホテルアーバンポート  
出席者 32名(理事19名)  
報告事項 職務執行状況報告、全国大会福井大会、租税教育活動、  
税制活動等報告について  
議 事 1)公益目的事業内容の変更(案)承認について  
2)平成30年度事業計画(案)の承認について  
3)平成30年度収支予算(案)の承認について  
4)資金調達及び設備投資の見込みについて

## (7)関係機関等の会議等

- 1) 4月24日 福井県法連正副会長会議、理事会 [福井市]
- 2) 5月17日 福井県法連第5回定時総会 [福井市]
- 3) 7月20日 全法連平成29年度第1回広報委員会 [東京都]
- 4) 7月28日 福井県法連事務局職員会議 [勝山市]
- 5) 8月23日 福井県法連全国大会福井大会第1回実行委員会  
[福井市]
- 6) 9月20日 福井県法連全国大会福井大会第2回実行委員会  
[福井市]
- 7) 9月25日 全国大会福井大会物産展出店者会議 [福井市]
- 8)10月12日 税金教室講師養成研修 [小浜市]
- 9)11月 8日 合同納税表彰式 [小浜市]
- 10)12月18日 福井県法連理事会 [福井市]
- 11)12月19日 北陸地区法人会事務局職員研修会 [金沢市]
- 12) 1月21日 福井県法連事務局職員会議 [福井市]
- 13) 2月 8日 全法連平成29年度第2回広報委員会 [東京都]
- 14) 3月23日 福井県法連理事会 [福井市]

## 平成30年度 税制改正要望事項

公益社団法人 福井県法人会連合会

### 1 はじめに

市場経済の国際化・情報化や企業活動の多様化が進展するなか、企業の潜在能力を最大限に引き出し経済社会に活力を与えるためには、税制が経済活動等に歪みや障害とならないようにしなければならない。

なかでも税制改正については、財政状況についての周知を前提とし、その目的や内容について国民の理解が得られることが重要である。

したがって、未だに経済社会の構造変化に対応しきれず不公平感が拭いきれない税制上の措置を見直し、過度な負担を最小限に留められるよう継続的な見直しを行う必要がある。

### 2 歳入・歳出、税制・財政

#### (1) 社会保障制度のあり方

イ 医療、介護、年金、雇用、子育て等のあり方を見直し、社会情勢の変化に対応した制度の実現と、みんなで支え合う取り組みが必要である。

ロ 社会保障の充実・安定化及び効率化、財政健全化の安定財源確保のためには、歳出面での厳格化が喫緊の課題である。

#### (2) 行財政改革の徹底

イ 国・地方における議員定数の削減、歳費の抑制。

ロ 国・地方公務員定数を削減し、能力を重視した賃金体系による人件費の抑制。

ハ 公益法人、独立行政法人に対する補助金は、真に必要なものだけに限定すること。

ニ 国と地方の二重行政を極力排除し、経費の効率使用に努めること。

ホ 民間でできるものは極力民間にまかせ、積極的な民間活力導入を行って、国・地方自治体のスリム化を図ること。

ヘ 課税標準を同じくする法人税、所得税、事業税、都道府県民税、市区町村税の申告・納税を一本化し、徴税コストの削減と納税者の利便性の向上を図ること。

ト 国際間での情報共有を密にし、租税回避行為（タックスヘイブン）の適確な見極めを実施し課税の実現を図ること。

### 3 経済

#### (1) 中小企業対策

イ 起業の促進、雇用の拡大、後継者の確保等活性化のための税の優遇は

必要であるので抜本的な施策を講ずること。

- ロ 必要な公共事業（インフラの整備等）は凍結せず行うこと。
- ハ 就業人口の減少やすぐれた技能・技術承継のため、熟練者の雇用の確保を図る施策を講ずること。

## 4 国と地方

### （1）地域間格差

- イ 都会と地方の所得格差は著しいものがあり、地場産業を振興させる税の優遇措置を図ること。
- ロ 「ふるさと納税」制度のさらなる制度拡充を図ること。

## 5 国税・地方税

### （1）法人税

- イ 国際競争力強化のため、また企業の海外転出防止のために法人税の実効税率（特に地方法人二税（法人住民税・法人事業税））のさらなる引き下げを求める。
- ロ 法人税実効税率の引き下げに見合う財源確保については、税制の公平性と透明性の観点から、租税特別措置法を見直すべきである。しかしながら課税ベース拡大にあたる当該見直しは慎重にすること。
- ハ 中小企業の軽減税率適用所得金額を引き上げること。
- ニ 退職給与引当金は将来確実に発生する債務を引き当てるものであることから、その繰入れについて損金算入を認めること。
- ホ 同族会社の留保金課税制度（中小企業の課税は撤廃された）そのものは未だ存続しているが、個人所得税とのバランスからその意義は既に失われており、廃止すること。
- ヘ 電話加入権を減価償却資産に変更し、損金算入を認めること。
- ト 少額減価償却資産の取得価額の損金算入制度の見直しを図ること。
- チ 中小法人課税における法人基準の見直しを図ること。

### （2）個人所得税

- イ 生命保険料控除のうち個人年金保険料と介護年金保険料は全額控除対象とすること。
- ロ 少子化対策として、子供が多くなれば世帯の税負担が軽減されるような税額控除制度等を創設すること。
- ハ 所得控除全般が複雑なため整理・合理化を図り簡潔にすること。
- ニ 奨学金控除制度の創設。

### （3）資産課税

- イ 若い世代への資産移動を促すために贈与税の基礎控除を引き上げること。

ロ 非上場株式（取引相場のない株式）の評価については、実情に即した評価方法・評価額とすること。また、当該株式に係る納税猶予制度については、更なる円滑な事業承継を行うためにその制限を緩和すべきである。

ハ 事業承継において、事業用資産、株式等は他の一般資産と切り離し、事業用資産、株式等への課税を軽減すること。

#### （４）消費税

イ 軽減税率の導入に当たっては、事業者の事務負担、税制の簡素化、税務執行コスト及び税収確保等の観点から、導入時期を的確に見極めること。将来的に、税率が上昇（20%以上等）した時が望ましい。

ロ 他の税目で課税されているものには消費税を二重に課税しないこと（タックスオンタックス）。

ハ 法人税の期限延長を申請した法人は、消費税も延長できる特例を設けること。

ニ 簡易課税適用事業者が高額な設備投資等をした場合は、期首にさかのぼって原則計算への変更を認めること。

ホ 消費税の滞納防止の観点から、延納制度を創設すること。

#### （５）印紙税

イ 現在の経済取引は、事務処理の機械化、取引形態の変化により作成される文書の形式・内容が変化し電子決済等でペーパーレス化している。文書課税としての印紙税には不合理・不公平な現象が生じているので廃止すべきである。

#### （６）地方税

イ エコカー減税（自動車取得税等）については、種々の要件を廃して完全実施とすること。

ロ 固定資産評価額（課税標準額）については、取引されている市場価格等の実勢価額で評価すること。また、特に建物については、経年により減価するので実態に即した評価額とすること。

ハ 空家等対策の推進に関する特別措置法により、固定資産税の増加、さらには住宅解体費用の捻出等といった問題が懸念される。他に効果的措置がないか検討すべきである。

ニ 地方の人口減少は深刻な問題となっており、また、半ば放置された空き家や田畑・山林も大変多い。このような非居住者の所有資産の維持管理体制を確立し、その受任者または管理業者等に対する補助金制度を設けることで問題解決が図られる。

## 6 原発対策

イ 原子力発電所立地地域では原発関連産業に依存している割合が高いため、再稼働できないときは税制面において何らかの支援措置を講ずること。

(イ) 地域企業の設備投資資産に係る固定資産税の軽減措置

(ロ) 原発関連技術力の流出防止（人材確保等）のため助成金制度の設置

(ハ) 事業運転資金に係る借入金の負債利子の撤廃

ロ 地域社会からの要請で再稼働する場合は、安全面において誰もが納得できる対策等を講じ周知徹底を図ること。

## 7 その他

### (1) 租税教育

イ 小中高校生に対する正しい税についての教育は重要であり、租税教育を行うことについて民間団体を大いに活用すべきである。

ロ 学校教育において、税に関する作文・ポスター作り・討論会等を取り入れて、租税の必要性を育むため義務化とすべきである。

ハ 地方の教育環境の充実を図るための優遇税制を設けること。

### (2) 地方拠点強化税制

イ 適用期限の限定を廃止することで、さらなる地方創生の一助となる。